

2019年度 第1回札幌市児童会館運営協議会会議記録

日時：2019年7月16日（火）午前10時～11時30分

場所：札幌市生涯学習センター『ちえりあ』2階 大研修室

出席：（委員）加藤委員、小野寺委員、佐藤委員、松山委員、佐藤委員、山本委員
五十嵐委員、井崎委員

（札幌市子ども未来局）森子ども育成部放課後児童担当課長、齋藤子ども育成部放課後児童係長
（事務局）山田（こども育成課長）、齊藤（児童会館担当課長）、長谷川（児童会館担当課長）、
笹川（児童会館担当課長）、高坂（児童会館担当課長）
板村（こども育成課係長）、大水（こども育成課係長）
村田（こども育成課主任指導員）

1 開 会

こども育成担当部長 五十嵐 挨拶

2 議 事

会議次第を確認後、報告および説明事項の審議が進められた。

（1）平成30年度事業報告について

長谷川（児童会館担当課長）より、平成30年度の事業について報告を行い、了承された。
委員からの質問・意見はなし。

（2）平成30年度利用者アンケート結果報告について

高坂（児童会館担当課長）より、利用者アンケートの内容と結果について報告を行い、了承された。
委員からは、自由記述欄の記載内容、総数・回答数について質問があった。

（3）新型児童会館（合築館）の運営状況について

齊藤（児童会館担当課長）より、2019年度より小学校との合築となった会館について説明
を行い、了承された。
委員からの質問・意見はなし。

（4）中島児童会館70周年事業について

笹川（児童会館担当課長）より、中島児童会館70周年記念セレモニーについて説明を行
い、了承された。
委員からの質問・意見はなし。

(5) 児童会館見える化プロジェクトの進捗状況について

山田（こども育成課長）より、利用実態調査の進捗について説明を行い、了承された。
委員からの質問・意見はなし。

3 札幌市より

札幌市子ども未来局 齋藤係長より、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）における放課後児童支援員の配置基準緩和についての説明があり、了承された。

委員より、札幌市は従来どおりの配置することに対して評価いただいた。

4 意見交換

テーマ「社会ニーズに即した児童会館のあり方」について

(1) 各委員よりご意見

- ・単独での会館は広くて体育室もあり良いと思う反面、昨今子どもが被害にあうような事件も多いことから、学校の中にあるほうが良いという意見もある。児童会館の防犯対策についてよくわからないという保護者も多い。
- ・情報がないわけではないが、保護者、地域の方が児童会館とはどういうものか理解していない。一方で、情報がなくて困っている家庭や保護者もいる。どのようにして情報を伝えていくか、考えていかななくてはならないと思う。
- ・行政や学校関係など、児童会館を含め、子どもや家庭にかかわる多様な人たちがおり、かわりを進めていくことはとても大事なことだと思う。一方で、職員の負担が大きくなっていくため、職員の善意のみで進めていくのではなく、バランスを取りながら進めていかななくてはならないところに難しさがあると感じている。
- ・数年で職員が入れ替わるため、方針や対応が変わってしまうことがある。
児童会館での事業など、地域の人にもわかりやすく教えてほしい。
- ・社会的ニーズが多様化しているため、どこに視点を合わせ実行していくのか、併せて外部に発信していくことが重要だと思う。
- ・社会の流れに対して合わせていかなければならない部分がある一方、流されない部分も同時に大事にしてもらいたい。変わらないものがあることで、昔児童会館に通っていた人たちと今の子たちの間で共通理解ができると思う。
- ・児童会館の役割として、昔は場や子どもの放課後の時間の提供だったが、今はコミュニティの提供である。町内会の崩壊も含め、今後の地域を担う一番の核となるのは児童会館ではないか。

- ・さまざまな子どもを受け入れることのできる大切な居場所であり続けてほしい。保護者が期待するものは多様化していると思われるが、求められるものに対応できる幅広い機能を柔軟に持ち続けてほしい。

5 閉 会

こども育成担当部長 井崎 挨拶

以上